France Bed

リクライニングベッドの歴史

近年需要が高まっている「リクライニングベッド」。フランスベッドは、創業時から時代やニーズに合わせて生産・販売をしてきました。今後ますます力を入れていくリクライニングベッドについて、その歴史を振り返ります。

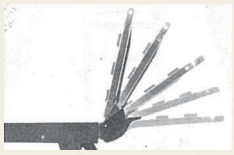
1960年代以降

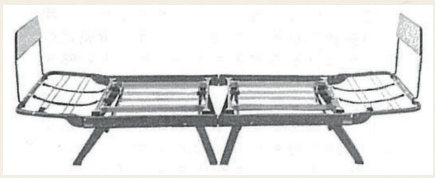
社名の由来にもなった分割ベッドの
リクライニング機能付きバージョン

◆ France Bed　K type

「昼はソファ、夜はベッド」のフレーズで親しまれた、フランスベッドシリーズ。当時の住宅事情に合わせて分割できる仕様になっていました。中でもこのK type は好きな角度が楽しめる5 段切替装置付きの仕様となっていました。欧米の生活様式に憧れがあったこの時代、モダンな雰囲気が漂うこの商品は、「豊かさのある暮らし」を実感させるものでした。

※分割ベッド「フランスベッド」は1955 年に発売を開始





ベルギーのジーン・パーカー社との提携で完成した
日本最初の多用途ベッド。

◆ リラックスベッド

分割ベッドから始まったベッド販売ですが、この頃からは一体型ベッドを販売するようになりました。ハンドルの簡単な操作で背角度などを自由に変えられます。当時から既に、読書をする時やテレビを見る時など、くつろぎの時間をより快適に過ごすためのツールとしてのベッドを提案していました。

1970年代以降

1975年病院向けの電動ベッドの製造・販売を開始。

◆ デラックスFA-104

フランスベッド初の病院向け電動ベッドとして開発されたFAシリーズ。背と脚の部分が、リモコン操作（電動）で上げ下げできるようになりました。

1980年代以降

◆家庭用電動リクライニングベッド MDシリーズ

インテリア事業本部初の電動リクライニングベッドとして登場。「くつろぎのベストポジションは、その日の気分で決まる。」というキャッチコピーで、80度まで自由自在のアングル操作によって、その日一番くつろげる体勢になることができます。

1990年代以降

メディカル部門

介助者・要介護者のサポートに注力

◆自立ベッド

少子高齢化注目され始め、介助者・要介護者のサポートに対してさらに力を入れていく第一歩として開発され、マルチポジションベッドの元となりました。

◆寝返り支援ベッド

医療・福祉施設の方の8割以上が「夜の見回りが楽になった」と回答！

◆超低床 フロアーベッド

利用者の転落リスクとともに介護者の負担も軽減。

◆離床支援 マルチポジションベッド

寝姿勢から立ち上がりまでをボタン一つでサポート。介護する側とされる側双方の心と身体をサポートする「新しい介護のカタチ」を提案する商品です。

インテリア部門

新しいライフスタイルの提案

◆DO-STEP

リクライニングだけでなく、ベッドの高さも手動で調整ができるベッド。また、マットレスも自分の体質に合わせて選べるようにさまざまな特長を備えたものを揃えました。

◆ラウンドベッド

強度試験を重ね、強化された頑丈なフレームが、回転＆リクライニング機能を実現。荷重をバランス良く受け止め、2人で使用しても、高性能モーターが安定したリクライニングを実現します。

◆ルーパームーブ

ソファ感覚・座椅子感覚でくつろげてベッドフレームにものせられる新発想のリクライニング機能を内蔵したマットレス。

◆薄型電動リクライニングユニット

薄型にすることで、これまで難しかった収納機能の搭載や、低床の電動リクライニングベッドを実現。フランスベッドのベッドフレームと自由に組み合わせることができます。